

平成30年度 日南市立榎原中学校 学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】 学校の教育目標具現化に向けて教職員の資質向上を図り、保護者や地域社会と連携を深めながら子どもの知・徳・体バランスのとれた成長と、将来にわたってたくましく生きていく力を育む教育活動を推進する。

4段階評価 4：達成（期待以上） 3：ほぼ達成（ほぼ期待どおり） 2：不十分（やや期待を下回る） 1：改善を要する（期待を下回

評価項目	評価指標	自己評価	成果・課題及び改善策	総合評価	関係者評価	学校関係者評価コメント(丸数字は各評価指標に関するコメント)
感動する心、自他の命や人権を尊重する心、共生や寛容の心など豊かな人間性を育む。	① 全教育活動を通じた道徳教育の展開と道徳の授業の充実	生徒	3.5	○成果…道徳教育に関する職員研修を定期的に行い、実践内容を共有し、道徳の授業や日常の指導に生かすことができた。 ☆課題・改善策…今年度作成した道徳教育の計画をもとに、次年度も生徒一人一人の道徳性を育てる指導を行っていく。	3.4	①道徳に対する認識が三者ともに高い数値となっているということは、学校でも家庭でも定着しているようだ。 ①勉強も大切だが、人が生きていくためには道徳教育も欠かせない大事なものだと思う。むしろ道徳教育の方が大事かもしれないということを子どもたちに伝えてほしい。 ①③道徳やボランティア等も榎原らしさが見られている。引き続き気持ちをもち続けていただきたい。 ②キャリア教育に対しての保護者の認識を高める必要がある。 ②保護者の評価が低く、生徒や教師との意識の差を感じさせられる。保護者への周知が不十分なものではないか。 ③朝のボランティア活動をすることにより、早起きをするこになり、とてもよいことだと思う。ボランティアの内容が生徒にとって苦痛になっていなければよいのだが、生徒会を中心に改善を図っていくので大丈夫だと思う。 ④本（文字）での情報収集の大切さを知る必要性がある。家庭ではテレビやネット等での情報収集が多くなっているのでは（思考を使わない）。 ④読書をする時間がなかなかとれないと思われる。隙間時間の有効活用などで、少しでも本と接する機会を増やしてほしい。
		保護者	3.3			
		教師	3.4			
	② キャリア教育の推進	生徒	3.4	○成果…学校の教育活動を通しての学びが生徒自身の生き方を見つめる力につながることを意図して、キャリア通信の発行やキャリアコーナーの充実を図った。 ☆課題・改善策…生徒に将来の夢や希望をもたせるような取組をはじめ、9カ年を見通したキャリア教育を計画したい。	3.2	
		保護者	2.7			
		教師	3.5			
	③ ボランティア活動の推進	生徒	3.7	○成果…校内では生徒会主体の朝の美化活動を継続して行うことができた。校外での地域清掃の時間も確保できた。 ☆課題・改善策…朝の奉仕活動がマンネリ化しつつある。活動の意義や方法等について生徒会役員を中心に協議し、改善を図っていく。	3.4	
		保護者	3.4			
		教師	2.9			
	④ 図書司書との連携による読書活動の推進	生徒	2.9	○成果…朝読書の推進、本に関する効果的な掲示、読書週間の取組、読み聞かせの実施等により、校内では意欲的に読書をする生徒が増えた。 ☆課題・改善策…家庭での読書時間の設定を目指して、図書司書と連携し、学校での取組についての情報提供や個人差への対応を行っていく。引き続きPTAと連携して家読の取組も行う。	2.8	
		保護者	2.3			
		教師	3.3			
「わかる」、「できる」を実感できる授業実践により、学ぶ楽しさや進んで学ぼうとする意欲を育てる。	⑤ 教職員の資質・指導力向上を図る研修の充実	生徒	3.2	○成果…校外の研修会に積極的に参加し、その内容を全職員で共有するとともに、全教師による研究授業を実施し、授業力の向上を目指した。また、全職員で生徒一人一人の理解に努め、諸問題の解決にあたってきた。 ☆課題・改善策…分かりやすい授業展開や生徒が質問しやすい雰囲気づくりに努め、学力向上を目指していきたい。	3.0	
		保護者	2.6			
		教師	3.3			
	⑥ 個別指導の充実と効果的な家庭学習の推進	生徒	2.9	○成果…授業内外における個別指導は効果的であった。 ☆課題・改善策…授業と家庭学習がリンクするような指導を工夫したり、個に応じた家庭学習スタイルを確立させたりするなど、家庭学習の充実を図る取組を行っていく。基本的な生活習慣（ネット利用やゲーム等）についても、保護者の協力を得る必要がある。	2.8	
		保護者	2.6			
		教師	3.0			
教科指導、特別活動や学級経営の工夫・改善により、生徒の思考力、判断力、表現力を伸ばす。	⑦ 言語活動の充実	生徒	3.4	○成果…授業や生徒会活動等において、根拠や理由を意識して発表や発言をする生徒が増えた。 ☆課題・改善策…基礎学力の向上と思考力・表現力の育成のバランスのとれた授業構築について、さらに研修を深めていく。	3.0	
		保護者	3.0			
		教師	2.6			
	⑧ 生徒会活動の活性化	生徒	3.7	○成果…各担当職員の助言により、各専門委員会の取組や生徒集会の企画・運営が充実したものとなった。 ☆課題・改善策…生徒会の諸活動の意義を明確にし、自治的な活動として活性化させたい。	3.2	
		保護者	3.3			
		教師	2.7			
心身の健康増進と体力の向上を図る。	⑨ 体育的行事や部活動を通じた体力の向上	生徒	3.8	○成果…体育の授業において筋持久力・柔軟性の取組等を行った。今年度も体力向上優良校に選ばれた。 ☆課題・改善策…立腰について、全職員による共通理解と計画的・継続的な指導を徹底したい。	3.4	
		保護者	3.5			
		教師	2.8			
	⑩ 教育相談の充実	生徒	2.6	○成果…定期的なアンケートや教育相談の実施等を通して、生徒の問題解決にあたってきた。 ☆課題・改善策…日常的にも相談しやすい雰囲気づくりに努めるなど、生徒の立場に立った手立てを考えていきたい。	2.9	
		保護者	2.3			
		教師	3.7			
	⑪ 食育の推進	生徒	3.3	○成果…栄養職員による学年の発達段階に応じた食育指導を学期に1回行った。保体委員会による食事のマナーに関する取組も積極的に行った。 ☆課題・改善策…栄養職員による指導内容を保護者にも発信し、家庭とともに食育を推進したい。マナー指導は継続する。	3.2	
		保護者	3.2			
		教師	3.2			
保護者や地域社会と連携し、地域に根ざした教育を推進する。	⑫ 小中一貫・連携教育の充実・推進	生徒	3.5	○成果…小中合同研修会や小中合同の行事を通して、9カ年を見通した教育の在り方について研究を深めることができた。 ☆課題・改善策…次年度の基礎学力アップ推進事業の研究発表に向けて必要な取組を、計画的・組織的に進めていく。	3.4	
		保護者	3.5			
		教師	3.2			
	⑬ 通信等を活用した積極的な情報発信	生徒	3.2	○成果…学校・学級通信の発行、HPの更新を定期的に行い、積極的な情報発信を心がけた。 ☆課題・改善策…保護者と直接連絡をとるなど、こまめな情報交換も心がけていきたい。	3.4	
		保護者	3.2			
		教師	3.6			
⑭ 地域行事への積極的参加	生徒	3.7	○成果…地域行事への参加だけでなく、学校の行事や総合的な学習の時間における地域人材の活用等、地域との関わりを意識した取組ができた。 ☆課題・改善策…地域の方々へのご協力を感謝したい。今後も地域との関わりを意識し、地域に根ざした学校の在り方を工夫していきたい。	3.5		
	保護者	3.4				
	教師	3.5				
榎原中に入学して(させて)よかったか。	生徒	3.7	○成果…概ね高い評価であった。 ☆課題・改善策…今後も小規模校のよさを生かし、全員が学校に行きたいと思う学校づくりに励んでいきたい。	3.6		
	保護者	3.4				
	教師	3.6				